

9－3 都市及び地方計画【選択科目Ⅱ】

Ⅱ 次の2問題（Ⅱ－1，Ⅱ－2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

Ⅱ－1 次の4設問（Ⅱ－1－1～Ⅱ－1－4）のうち1設問を選び解答せよ。（緑色の答案用紙に解答設問番号を明記し，答案用紙1枚にまとめよ。）

Ⅱ－1－1 主な生活拠点とは別の特定の地域に生活拠点を設ける暮らし方である二地域居住へのニーズが高まっている。二地域居住の意義を説明するとともに，二地域居住を促進していくうえでの主要な課題を3つ挙げ，それぞれの課題に対する解決策を述べよ。

Ⅱ－1－2 都市計画法に基づく都市施設について説明するとともに，都市施設を都市計画に定める意義を複数挙げて説明せよ。

Ⅱ－1－3 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく空家等活用促進区域について，それがどのようなエリアに設定されるものであるか述べよ。また，空家等活用促進区域を設定する際の必要な手続，考慮すべきことその他の留意事項を3つ述べよ。

Ⅱ－1－4 都市緑地法に基づく都市における緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な方針（緑の基本方針）に位置付けられている緑地の保全及び緑化の推進の意義について，社会的背景を踏まえて2つ挙げて説明せよ。さらに，その意義の実現に向けて緑地の質の確保・向上を図るための具体的な施策を複数述べよ。

Ⅱ－２ 次の２設問（Ⅱ－２－１，Ⅱ－２－２）のうち１設問を選び解答せよ。（青色の答案用紙に解答設問番号を明記し，答案用紙２枚を用いてまとめよ。）

Ⅱ－２－１ 乗降客数10万人規模の鉄道駅の駅前において，立地特性を踏まえた高度利用の需要が高まる中，市街地再開発事業に係る都市計画決定がなされ，組合施行による事業着手に向けて準備が進められている。

こうした状況下において，建設費高騰等の背景を踏まえつつ，市街地再開発事業の事業計画を作成する担当責任者として，下記の内容について記述せよ。

- （１）事業計画の作成に向けて，事前に調査，検討すべき事項とその内容について説明せよ。
- （２）業務を進める手順を列举して，それぞれの項目ごとに留意すべき点，工夫を要する点を述べよ。
- （３）業務を効率的，効果的に進めるための関係者との調整方策について述べよ。

Ⅱ－２－２ 南海トラフ地震による津波被害が懸念される地方都市において，被災後の復興まちづくりの事前準備として，事前復興まちづくり計画を策定することとなった。

本業務の担当責任者として，下記の内容について記述せよ。

- （１）事前復興まちづくり計画案の作成に向けて，調査，検討すべき事項とその内容について説明せよ。
- （２）業務を進める手順を列举して，それぞれの項目ごとに留意すべき点，工夫を要する点を述べよ。
- （３）業務を効率的，効果的に進めるための関係者との調整方策について述べよ。

9－3 都市及び地方計画【選択科目Ⅲ】

Ⅲ 次の2問題（Ⅲ－1，Ⅲ－2）のうち1問題を選び解答せよ。（赤色の答案用紙に解答問題番号を明記し，答案用紙3枚を用いてまとめよ。）

Ⅲ－1 地方部の中核都市A市は，少子高齢化と人口減少が進行している。また，近年の災害の激甚化を踏まえ，災害に対して強靱なまちづくりが求められている。

このような中，A市は5年前に立地適正化計画を作成し，持続可能なまちづくりを進めてきたところであるが，5年を経過したことから，立地適正化計画の見直しを行い，引き続き持続可能なまちづくりに取り組んでいくこととなった。

こうした状況を踏まえて，計画の評価と見直しに向けた検討の担当責任者として，以下の問いに答えよ。

- （1）A市の立地適正化計画作成以降のまちづくりの評価に際して，A市の社会状況の変化を想定したうえで，多面的な観点から，評価すべき課題を3つ抽出し，評価の観点を明記したうえで，それぞれの評価方法を示せ。
- （2）前問（1）で抽出した課題のうち最も重要と考える課題を1つ挙げ，その課題に対して，立地適正化計画見直しによる複数の解決策を，専門技術用語を交えて示せ。
- （3）前問（2）で示した解決策を，立地適正化計画を見直して位置づけようとした際に，市民や関係者から提起されうる懸念事項とそれへの対策案について，専門技術を踏まえた考えを示せ。

Ⅲ－２ ある地方都市の江戸時代からの歴史的町並みが残る旧城下町地域において、文化財としての価値を有し歴史的風致形成建造物に指定されている古民家を、所有者が保有したまま内部を公開するために必要な改修を行い、地域活性化に寄与するよう観光資源として活用する事業を行おうとしている。

古民家の改修及び管理運営に当たっては、当該エリアで活動している地元まちづくり団体が中心となって、所有者、市担当部局等の関係者と連携しながら、事業実施方針を検討することとしている。

事業実施方針の検討・策定に携わる技術者として、以下の問いに答えよ。

- (1) 事業を進めるに際しての課題を多面的な観点から3つ抽出し、それぞれの観点を明記したうえで、課題の内容を示せ。
- (2) 前問(1)で抽出した課題のうち最も重要と考える課題を1つ挙げ、その課題に対する複数の解決策を示せ。
- (3) 前問(2)で示したすべての解決策を実行しても新たに生じうるリスクとそれへの対策について、専門技術を踏まえた考えを示せ。